

新潟県

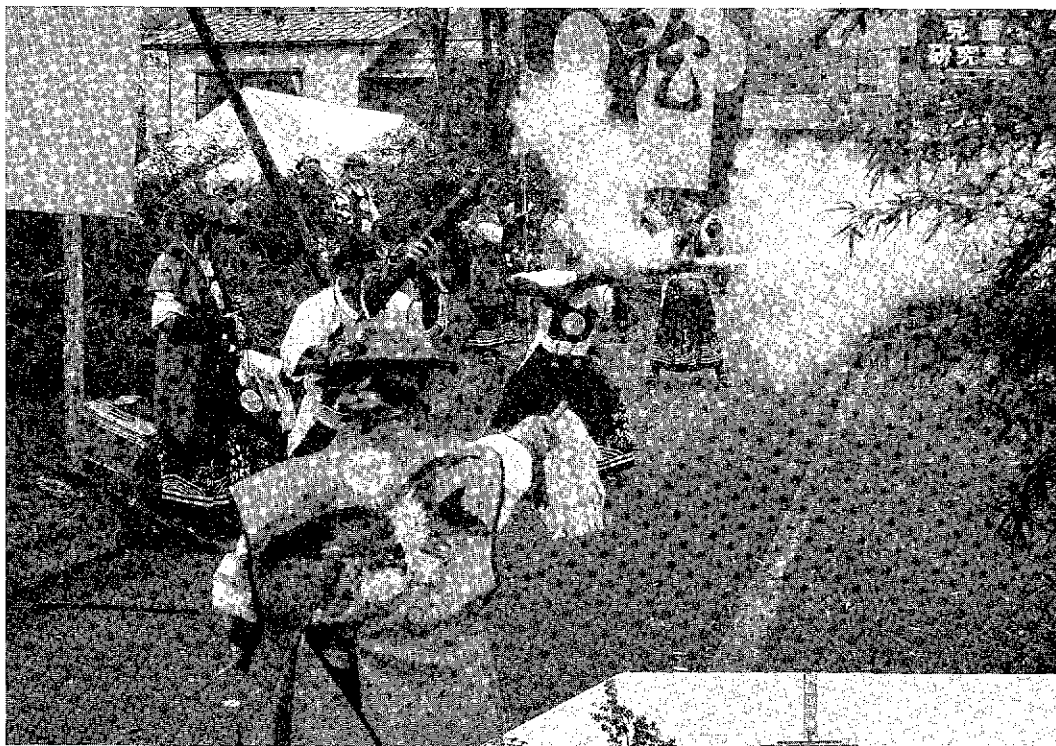
平成5年

公民館月報

9月

第487号

特集 無境界化時代と子供たち



歴史の継承と

風格ある町づくりを

ふるさと六日町が輩出した戦国の名将上杉景勝・直江兼続両公を顕彰するシリーズが完成した。

七月十九日、米沢藩稲富流砲術隊を迎えて除幕した。

(資料写真提供 六日町公民館)

公民館等管理者研修会

公運審の役割をテーマに

定員オーバーの大盛況

去る八月二十五日(木)、県立生涯学習推進センターと当県公運の共催による「公民館管理者研修会」が生涯学習推進センター大研修室を主会場に開催された。

メインテーマは公民館運営管

審(以下公運審という)の役割会議(以下公運審という)の役割会議(以下公運審という)の役割会議(以下公運審という)の役割

がなされた。

先に県公連が実施した公運審の実態調査の集計結果(表1・表2参照)をもとに、問題提起があり、続いて七班に分かれてバズセッションが行われた。

その部会報告の中から特徴的なものをピックアップすると次のようなことであった。

(1)公運審の共通設置の公民館において、地区館の個々の問題にまで対処している公運審がある



公運審の実態調査 H5. 5. 10現在

調査票回収率100%

〈表1〉公運審の活動状況
調査・審議の方法

項目	市	町村	計
館長の提示する資料による	40	71	111
必要に応じて専門部を組織	8	12	20
事業に参加することで調査	11	38	49
調査・審議はしていない	1	3	4
その他	0	2	2

諮問・答申の形式

項目	市	町村	計
会議の議事と結果による	23	69	92
どちらも文書で行っている	9	13	22
諮問も答申もしていない	19	10	29

年間会議回数 の度数分布

	1	2	3	4	5	6	7	10	無	計
市		8	21	8	7	2	2			48
町	3	22	36	16	3	7	2	1	2	92
計	3	30	57	24	10	9	4	1	2	140

〈表2〉公運審の委員構成

	設置数		各号委員の構成			年齢別構成			性別		
	単	共	1号委員	2号委員	3号委員	29以下	30-59	60以上	男	女	
市計	34	14	委員数	83	241	269	5	365	223	447	146
	公運審総数	48	構成比	14.0	40.6	45.4	0.8	61.6	37.6	75.4	24.6
町村計	76	16	委員数	176	450	417	31	684	328	823	220
	公運審総数	92	構成比	16.9	43.1	40.0	3.0	65.6	31.4	78.9	21.1
総計	110	10	委員数	259	691	636	36	1049	551	1270	366
	公運審総数	140	構成比	15.8	42.2	41.9	2.2	64.1	33.7	77.6	22.4
	委員数	1636	1館当たり委員数	1.9	4.9	4.6	0.3	7.5	4.9	11.3	3.3

く、効果的な対策を考える必要があることなどであった。(なお、これらの詳細は講師の指導内容も合わせて一は機会を改めて課題追求シリーズの一環として掲載する予定)

関プロ分科会

入念な事前打ち合わせ

去る八月二十四日、新潟市中
央公民館会議室を会場に、関プロ
公民館研究大会の分科会運営
の三役による打ち合わせ会が行
われた。

関プロ公民館研究大会では、
数ある分科会のうち、少なくとも
一分科会について主管公連以
外の都県が責任を持つことと申
し合せているもので、今大会
の本県担当は第七分科会「障害
者の学習と公民館」。

提案発表は新潟市鳥屋野地区

公民館の梶路子社会教育主事
(写真中央)、司会には新潟市石
山地区公民館長馬場三次氏(写
真左)、助言には黒崎町教育長の
青木昭平氏(写真右)の三氏が
当たられ、大会当日を盛り多い
ものにするため入念な準備がな
された。そのため、大会当日は
きわめて充実した分科会が展開
された。

視点

生涯学習
推進の取り
組みが各地
で始まり、
成人、高齢
者の学習機
会が増大し
ていること

は誠に喜ばしい限りで
す。しかし、青少年、
特に在学青少年の生涯
学習体制における取り
組みや認識はましま



子ども会と公民館

塩原 俊平

であり、昨年九月から
の学校週五日制の実施
に伴う各市町村教委の
施策にはかなりの差異
が感じられます。
従来、青少年の学校
外における社会教育は
主に公民館を中心とし

て進められてきました
。指導者養成をはじめ
めスポーツ、文化、レ
クの活動等で特に子ど
も会等少年に対する事
業では、テレビ子わん
ぱく教室、カヌー教室、
地域における教育や



活動の拠点が公民館で
遊びの教室、子ども太
鼓、パソコン、英会話
教室等々時代の要請を
踏まえた素晴らしい事
業が実施されています。
文部省に生涯学習局
が発足してからインテ

リジエントスクールが
話題になりましたが実
現の見通しは暗く、現
在の学校のカラを破る
には今後数十年もかか
りましよう。
（新潟県子ども会連絡
協議会事務局長）

「私の生き生きライフ」

相田 豊



登り始め
て五分、車
酔いも手
伝ってさっ
きまで何ん
となく気分
がすぐれずにいた私の気持が、
スーと引く山の霧のように
どこかに消えてしまった。
自然は不思議である。山の
緑や花が空気が人の心を優
しくつつんでくれる。

たどりつく。翌朝の御米迎は素
晴らしかった。まさに幻想の世
界である。待つことしばし、剣
の右肩にバツと一点の明りがと
もる。待ちに待った御米迎であ
る。夢中でカメラのシャッター
を切る。五彩の色はみるみる大
きく広がっていく。感動の
瞬間大自然の神秘さに思わ
ず合掌。雷鳥の遊ぶ姿を横
に見ながら奥大日岳へと山
歩きを楽しんだ。

ひろば

知らない者同志が、山小
屋の暖かいランプの灯の
もと語り合える楽しさにひか
れ、又次の山行へと心がは
ずむ。

いつまでも健康である事を願
いながら、素晴らしい大自然と、
いろんな人々との出逢いを求め
ての山歩きは、私にとって一番
心やすらぐひとときであり、生
き生きと過ごせる明日への源で
もありません。
（村松町公民館
運営審議会委員）

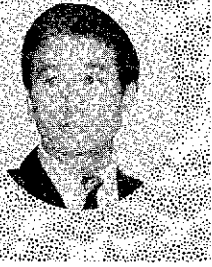
講師の自己紹介ふう

プロローグ

生まれ故郷北海道の人口六千人ほどの小さな町の公民館主事を振り出しに、社会教育行政だけで二十八年。この間十数年は青少年教育の面での仕事をしてきました。

これからお話しするのは、学者のような論理的なものではなく、青少年教育施設で子供たちを扱っている現場からと、ささやかですが私の公民館勤務時代約五年間の思い出や、その後私なりに勉強したことを踏まえた上で、なるべく現実に近い話をしてまいります。

公民館大会
要旨
子供たち
少年自然の家
隆夫氏



一、公民館の歩みと反省

ご存じのように、公民館は戦争で廃墟と化したムラを立直らせるために、住民の学習活動の場として、集会活動の場としてあるいは憩いの場として設けられました。昭和二十一年のことです。そして、いわゆる青空公民館が設置された創設期、地域の社会教育活動の拠点に位置付けられた普及期、その後機能充実の時代を迎えた整備期、生涯学習(教育)理論の行政への具体化の進行とあいまって、国の公民館施設建設補助予算が大幅に伸びた伸長期、そして今日の変革期と続き、これからどう変わっていくのかということが問題であります。

公民館が誕生して今年で四十七歳になります。この四十七年の流れを見ますと、住民の学習活動の場、集会施設、憩いの場という名のもとに、主として大人集団への関わりではなかったかという感じがいたします。まったくと言っていいほど子供たちに手を差し伸べてこなかったのではないのでしょうか。

無論、図書室を設けて子供たちに本を読ませるとか、年に何回かの子供のためのイベントを実施するといったことは行っていますが、公民館自身が、子供

たちのために、地域の中の日常的な継続的な学習の場としての観点から事業を実施してきたか、ソフトウエアを提供してきたかという少々疑問を感じます。公民館はいつの間にか成人教育の施設となり、しかも、成人に対する学習の援助や場の提供と言いつつも、その多くは個人の趣味だけを伸ばしていくことに利用されるような施設になつてはいないでしょうか。

いま、大変に世の中が変わってきています。生涯学習という名のもとに、成人とか高齢者の各種の活動を中心に展開してきたものから、少しは子供たちに対してアプローチできるようなことも考えていかねばならない時代になっていると思います。



そういう意味で、今日お邪魔した意味もあるのかなという気がいたします。

子供のことを考える場合は、今の子供たちの置かれている状況、私たち大人が置かれている状況を十分に知る必要があります。そのことについて私なりに分析してみたいと思います。

二、変化の時代

今の時代は大変大きな波が襲って来ている時代だというふうに考えます。波も小さなものはあまり支障はありませんが、先日の北海道興尻島の津波のような大きなものになると、波が去ったあとに何も残らないほどの被害を生じます。「変化」という波も小さいうちは人々にあまり影響を与えませんが、大きな変化は大きな影響を与えます。

今やつてきている大きな変化を見ますと、まず国際的なものでは、近々二年の間にあの大国ソ連がいつの間にか無くなったことなど考えもしなかったことです。また、ベルリンの壁も一晩にして崩れてしまいました。国内では、まさかの自民党が思っていたのに、まさかになつてしまいました。これは政治の世界の大変化です。パブル・バブルと言っていたのが一晩にして変わってしまいました。

た。これは経済の世界の変化です。もつと卑近な例を挙げると、二年程前まではエイズという言葉すら知らなかったのに、エイズに対する恐怖心やエイズに対する構え方は大変なものがあります。突然に現われた巨大な波です。どのくらい大きな波かと申しますと、コンドームという言葉が中学生の段階から教えるんで、ひよつとしたら持たせなければならぬかも知れないという、ものすごく大きな波が襲って来ている。

このような大きな波が来ている時、ある現象があります。それは、本日のテーマとしている「境目が無い」という現象であります。ボーダーレスとかフアジィと言うあれです。

三、社会のボーダーレス現象

例えば、プロとアマの世界が一緒になりました。オリンピックはアマチュアの祭典ですが、今はプロのバスケやテニス、ボウリングが参加したり、出演料をもらって参加するマラソンの有名選手も現われております。

企業では(身近な例で申しますと)、妙高村には松下の経営しているパインバレーというリゾート地があります。松下といえば家電メーカーのイメージの濃い企業ですがリゾートの経営

第44回新潟県 記念講演 無境界化時代と

講師 国立妙高
所長 五十川

にも乗り出してきているわけですが、その反対斜面にはソニーのスキー場が開発される予定とか。日本国有鉄道が「D」に変わった途端に赤ちやうちは出すは、本屋を出すはとミニデパートの感があります。更に例を挙げますと、柔道の世界に女性が、大型トラックやダンブカーの運転も女性が進出する時代です。最近の競馬場は若い女性がワンサと押し掛け様変わりしています。こうした趣味の世界でも男女の境目のない時代になってきています。このように、国と国、夜と昼、公と民などいろいろな面で境目が無くなっています。

これらの境目のない現象は、それなりに対処できるものとそうでないものがあります。困るのは大人と子供の境の無くなっていくことです。大人と子供の境目はきちんとしておかないといけないと思います。

四、大人が大人らしく

どうして今、大人と子供の境目があいまいなのでしょう。私は大人が大人らしくないのが原因だと思っています。大人として子供の前で恥ずかしくないように生きていくかどうかという事です。今日の大人は、一般的に幼くて、軽くて、いい加減な大人が多過ぎます。大人はもつとどっしりと構えて子供との違いを見せる必要があります。

例えば、テレビの番組で朝から覗き趣味、ゲテモノ、いじめに近い内容のものばかりの番組が放映されています。しかも、延々とやっています。何日も続けています。その番組にはコメントタイマーがいて、(それが芸能人であったり大学の教授などで)もつともらしく綿々と解説するわけです。それを見ている子供たちは、それが大人の世界だと思ってしまう。こんなばかばかことをしているのが大人だと思ってしまう。これは、これ



からの子供たちのことを考えることと決断することではあります。酸いも辛いも噛み分けられるようになった人たちが、冷静に観ているのならいいでしょうが、子供はまだそこまでの能力を持っていないからです。子供たちの仲間の中で、じつとものを考え、辛辣な論議を始める子がいると「おまえは暗いじゃないか」と人気がない。面白おかしくあははと笑う世界だけが尊重される世界になっています。

産業界では、景気の低迷のカラを打破するために事業の再構築(リストラ)ということをやっています。つまり、既存の概念を見直し、発想の転換を図ろうという事です。これは中小企業のみでなく大手企業もみんなそのことに真剣です。

五、公民館の対処の方向

公民館では、館長・職員、公運審がいろんなことを踏まえて事業を考えていることと思えます。従来の対象や事業の生かし方などをもう一度シビアに見なおしてみることが必要ではないかと思えます。

公民館では、館長・職員、公運審がいろんなことを踏まえて事業を考えていることと思えます。従来の対象や事業の生かし方などをもう一度シビアに見なおしてみることが必要ではないかと思えます。

このような事件は三和村ばかりではありません。実は我が少年自然の家にもありました。自然の家の玄関が冬の間雪で見えなかったのですが、春になって雪が解けたら煙草の吸い殻がたぐさんでできました。施設を利用する子供たちは真剣に綺麗に

務の問題)も考えて、どのよう
に公民館が対応すべきか、事業
の再構築をしていくかが大切で
す。

(1) 学校と公民館の連携

公民館の存在について、これ
までの程度に子供たちに浸透
しているかについて考えたこと
があります。学校週五日制に
なったことで、公民館で遊びた
い！と思った子供たちが果た
して何人いるかを考えたことがあ
りましょうか。子供たちは恐ら
く「公民館は大人の行くところ」
と知っているかも知れません。
したがって、子供たちに公民館
の存在(価値)を知らせる必要
があります。幸い、小学校四年
の社会科に、公民館に関する単
元や地域を知る単元がありま
す。そういう箇所の授業をする
時には、学校の教室から出て公
民館で授業をしてもらったらど
うでしょうか。「地域」の学習の
時には学校の先生よりは公民館
の館長や職員の方から授業して
もらうほうが効果的な場合があ
りましょう。先生より地域のこ
とを良く知っているからです。
また、体験学習が(昨年から小
学校一年生に「生活科」という
のができ)重要視されています。
ここでも、学校内だけの体験学
習から公民館が舞台となれば、
兎を飼う、山羊を飼うというこ

とが全国一律に行われているよ
うな金太郎飴的体験学習から発
想の転換による学習が可能にな
ります。学校でできない体験学
習が可能です。そういう面での
子供へのアプローチの仕方によ
って、子供たちに公民館を分
かってもらうことができます。
いま、学校もまた変化しつつあ
りますし、変われと言われている
わけですから、学校との連携
を相談したらいかでしょうか。
このような事業の見直しを図
り、新しい事業に取り組む場合
大切なことは「帰る港」を想定
しておくことです。限られた職
員と施設の体制で、事業をブラ
ンニングする場合、その事業の
終着地、つまり、どこに船を着
けるかを考えて始めないと收拾
がつかなくなりそうです。学校週五
日制は、今、月一回ですが、やが
て毎週になると考えられます。
完全五日制になると年間五十五
週になることを考えてのブラン
ニングが大切になります。この
点について、わが少年自然の家
では、「三年間だけやって、三年
後には船を港に帰す」(つまり、
主催事業から手を離す)という事
業を始めました。なぜ三年とい
う時限を設定したのかの根拠
は、最初の一年目は職員総出で
お世話をする。お世話をしながら

らリーダーとしての候補者の発
見に努める。二年目は、その人
たちにリーダーになってもら
い、職員の半分は手を引く。三
年目には父母たち全てがリー
ダーになって、職員は全員手を
引くという構想です。
公民館はもともと学習集団を
育てるのは得意でしょうから、
その親子希と考えればいいわ
り。



(2) 管理の在り方

公民館は住民みんなの施設だ
と言いがら、やたらと鍵をか
けている部屋が多い。鍵を掛け
なくともいいところまで掛けて
いる。住民の側からは「なぜ鍵
を掛けるの」と思う箇所がたく
さんあります。そこを直さない
で「自由にどうぞ」と言っても

だめです。
例えば、テニスコートに鍵が
掛かっている。親子で気軽に公
民館にやってきて、「テニスでふ
れあい」と思っても、使用申
込書で申し込み、使用料金をは
らって、それも、役場から収入
証紙を買ってきくと手続きだけ
でも簡単には行かない。これ
では気軽に利用することにはな
らない。ある一定期間、計画的に
利用しようとする団体なら、申
し込みをするのは大切なことで
しょうが、親子で「ちょっと行っ
てみようか」という場合に気軽
に使えるようにしておくことが
必要でありましょう。使用料の
収入など微々たるものでしょう
に。こうしたところに、管理面
の発想の転換を図る必要がある
と思います。

(3) 学習活動の工夫

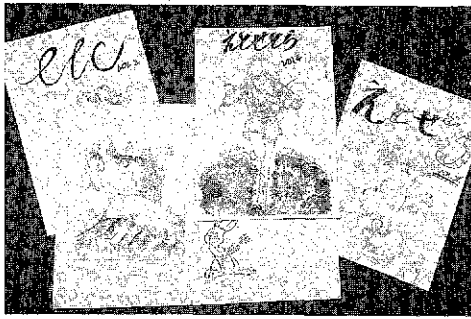
学習活動の面では、大人に対
する子供を介在した活動の展開
をやれないものでしょうか。地
域の人々と子供たちの関係で活
かされるような事業を考える必
要があります。例えば、先
日の新潟日報に、「怖ろしいシャ
チから子鯨を守るために八頭の
親鯨が円陣を作って守りぬい
た」といったニュースが報じら
れていました。こうした情報を
教材に、今日の大人が学ばなけ
ればならないことが大切だと思

います。子供を守るのには一人
の大人の頑張りではだめなん
です。みんなで守らなければだ
めなのだとすることを学ぶのが公
民館です。個人個人の欲望を満
たすだけの公民館の学習から他
に及ぼす学習、周辺の人々に子
供との関係を良くする方向の事
業に取り組んでほしいと思いま
す。
六、むすび
子供たちは、人間社会という
ムレの中に入っていくかばなり
ません。その時に、基本的なこ
とがらをきちんと身につけてお
かないと生きていけないと思
います。その基本的な事柄を教え
てやるのが大人です。そういう
本物の大人が出現したときに素
晴らしい風が吹き出すだろうと
思います。最初はそよ風かもしれ
ませんが、それがやがて大き
な風となって、周辺の子供たち
に当たるようになったときに、
子供たちの姿は変わるでしょう。
山本五十六の言葉に「やって
みせ、言ってみせて、させて
みて、賞めてやらねば人は動か
ぬ」という言葉があります。子
供の前で自信を持って「やって
みせる」ことのできる大人がど
れほどいるでしょうか。そうい
う大人をたくさん作ってほしい
ものです。(文責 編集部)

サークル交流

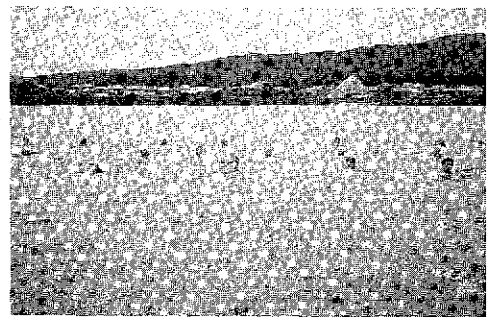
「個性豊かな絵かき仲間」 中条町 えとせとら

人間それぞれ得意分野があるように、絵を描く仲間にもいろんなキャラクターを持った人達がいる。イラストを描く人、マンガが好きな人、小説をつくる人、セル画をする人とみんなで一緒に...というよりも、バラバラに楽しむといったなんでもありなのが、うちのサークルのモットーです。



四人で初めたこのサークルも早いもので五年経ちました。多い時は九人もいたメンバーも結婚したり、東京へ行ったりとやめていった人もいて、今は全員で四人になってしまいました！

でも、もともと絵を描くのが好きな仲間達なので、好きな音楽をBGMに手は一生懸命絵を描きながら、面白い話に大笑いする...といった感じで毎週中条町公民館に集っています。きつと、騒がしいサークルだナァと思っ



ている事でしよう。これから、好きな事をずつとやっつけていきたいと思っています。(和久井 洋子 記)

「真野湾の波飛沫」 真野町水泳同好会 (仮称)

本来であれば公民館の利用グループを紹介すべきところではありますが、敢えて我町と姉妹都市である東京都国分寺市との遠泳交流について書かせて頂きたいと思えます。

我町と国分寺市と姉妹都市の提携をしたのは平成元年で、以来五年間公民館も含めて種々な交流を重ねて参りました。その中で今回七月二十五日に実施し

た遠泳交流は新任の私には特に印象深いものでありました。当日は、台風四号の余波で多少のうねりがあり決行すべきか否か非常に懸念された訳ですが、参加者達(国分寺市より老若男女三十四名、我町より老若男女十名)の熱意が通じたのか？スタート直前には、うねりも治まり日差しも強くなって絶好の水泳日和となりました。新町海水浴場をスタートし3.2kmのコースを無事泳ぎ切り、その後は浜辺でレクリエーションを交えた楽しい懇親会を味わえる事が出来ました。現在建設中の温水プールが完成した暁には、公民館としても水泳同好会なるものを結成して遠泳交流に参加出来ればと思います。(鈴木信宏 記)

西山町公民館 主宰

押見 敏 氏 (25歳)

平成二年四月、夢と希望を胸に一人の美男子が、当公民館にデビューした。名前の通り「鋭敏な感覚・機敏な行動・敏感な住民の意識及び状況把握」で、公民館活動をリードしている。

新採用にもかかわらず、当町の実情から、公民館はもとより社会体育・学校建設に積極的に関わり、斬新なアイディア・キメ細やかな処理・優しさ



素顔 押見

最後に、一日も早いご成婚と、より一層のご活躍を祈念する。(小池 記)

豊栄市中央公民館主宰

浅香 範人 氏 (25歳)

名は「のりと」と読んでください。ですが神官の息子ではありませんで念のため申し添えます。

さて、これから彼をじっくり解剖してみたいと存じます。なお、概要は身体及び性格とさせていただきます。

まず概要1の身体です。身長は低からず、体重は重からず、すこぶる現代青年の平均的なシルエットです。ルックスは決して悪からず、それでいて目立たず、かつて多くの人の心に感動



を与えた「坂本九(せつたい) ケーシー高峰ではない。」をどこ(あそこ?)となく思い起こさせます。

続いて概要2の性格に移ります。気性に波がなく、苛立つことは皆無。いつも朗らかで、私心をはさまず、そして他人に気配りを忘れないという、典型的な好青年です。

〔豊栄市社会教育課主任 服部尚人 記〕



いきいき県民カレッジ 出かけてみませんか!

県立生涯学習推進センター主催の「いきいき県民カレッジ」が近く開催されます。このうち、すでに申し込みを締め切ったもの(特別講座「良寛とわたし」生涯学習シンポジウム

日時 九月二十六日(日)
午前十時～十二時

上映作品「同胞」
山田洋次監督

紀要「郷土の自然」第九集

柏崎市大洲公民館長から「横糸と縦糸」という生涯学習地域資料が惠贈された。これは、同館で毎年一回生涯学習地域づく

県高齢者大学

公開講座のすすめ

勸新潟県長寿社会振興財団では、左の要項による高齢者大学の公開講座を実施します。多数の参加をおすすめします。

本資料集希望の向きは実費四百五十円(送料別)で頒けてく

定員 二百人(参加自由)
会場 県立生涯学習推進センター

なお、この日午後一時から四時まで、同センターで「生涯学習いきいき広場」が開催され、県内各地の生涯学習実践グループや団体が、人形劇、影絵、紙芝居、コーラスなど日頃の学習活動の成果を発表します。

に焦点をあてたもので自然編の「第一部」であるという。引き続き「第二部」の編集も計画されている由。

あとがき

◆さわやかな秋の訪れ、と言いたいところですが、今年の夏の異常気象はどうしたことでしょうか。去りぎわの台風十三号の猛威には驚くばかりです。

◆さわやかな秋の訪れ、と言いたいところですが、今年の夏の異常気象はどうしたことでしょうか。去りぎわの台風十三号の猛威には驚くばかりです。

◆地域づくりの中核となるべき公民館は、こうした時にこそ、「生きる目あて」を見出し、みんなで生きるよりどころにする必要があると思います。

いきいき県民カレッジ祭
新しい自分との出会い

平成5年9月22日(土)・24日(日)・26日(月)

新潟市アサザセンター・新潟県立生涯学習推進センター
新潟県教育委員会

県高齢者大学公開講座
平成5年10月15日(金)～12月17日(金)

毎週金曜日
午後1時30分から3時まで
会場 東北電力グリーンプラザ
上大川前通5-84

講座 「家族を考えなおす」
-高齢化社会と老人の立場から-
講師 浅妻康二氏
全国高齢化社会研究協会理事

募集人数 30人
募集資格 高齢化社会に興味をもって
いる人ならどなたでも応募
できます。

受講料 2000円
応募方法 はがきで下の様式により財
団へ郵送。応募多数の場合は
抽選。

講義内容
10/15 社会変動と高齢化社会
10/22 世代の連続と非連続(断絶)
10/29 旧民法と教育勅語
11/ 5 民法改正と家族
11/12 社会変動と家族
11/19 家族の機能と構造
11/26 核家族・ニューファミリー
12/ 3 家族の扶養と社会福祉
12/10 相談
12/17 みんなで考える家族

応募締切 9月24日(金)
応募・問い合わせ先
新潟高齢者大学事務局
勸新潟県長寿社会振興財団
〒951 新潟市新光町7-2
県商工会館六階
☎025-285-1400

公開講座受講希望
ふりがな
①氏名
②性別
③年齢
④住所
⑤電話番号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟(025)224-6073】

発行人 会長 細川正博
編集人 事務局長 上村捨二郎
【定価1部130円 年共1,560円】